

重要文書をセキュアな環境で共有！ PDFセキュリティソリューション

2025/4/23
株式会社ハイパーギア
営業部 奥田 千晶

セミナー前の連絡事項

- ① 本資料をご希望の方はセミナー開始前にお送りしたリマインドメールをご確認ください。
メール内に資料のダウンロードリンクを記載しております。
- ② セミナー最後にQ&Aの時間がございます。質問は**音声でのみ**お受けしております。
- ③ セミナー終了後にアンケートページが表示されます。
今後のセミナー運営に活用させていただきたいため、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

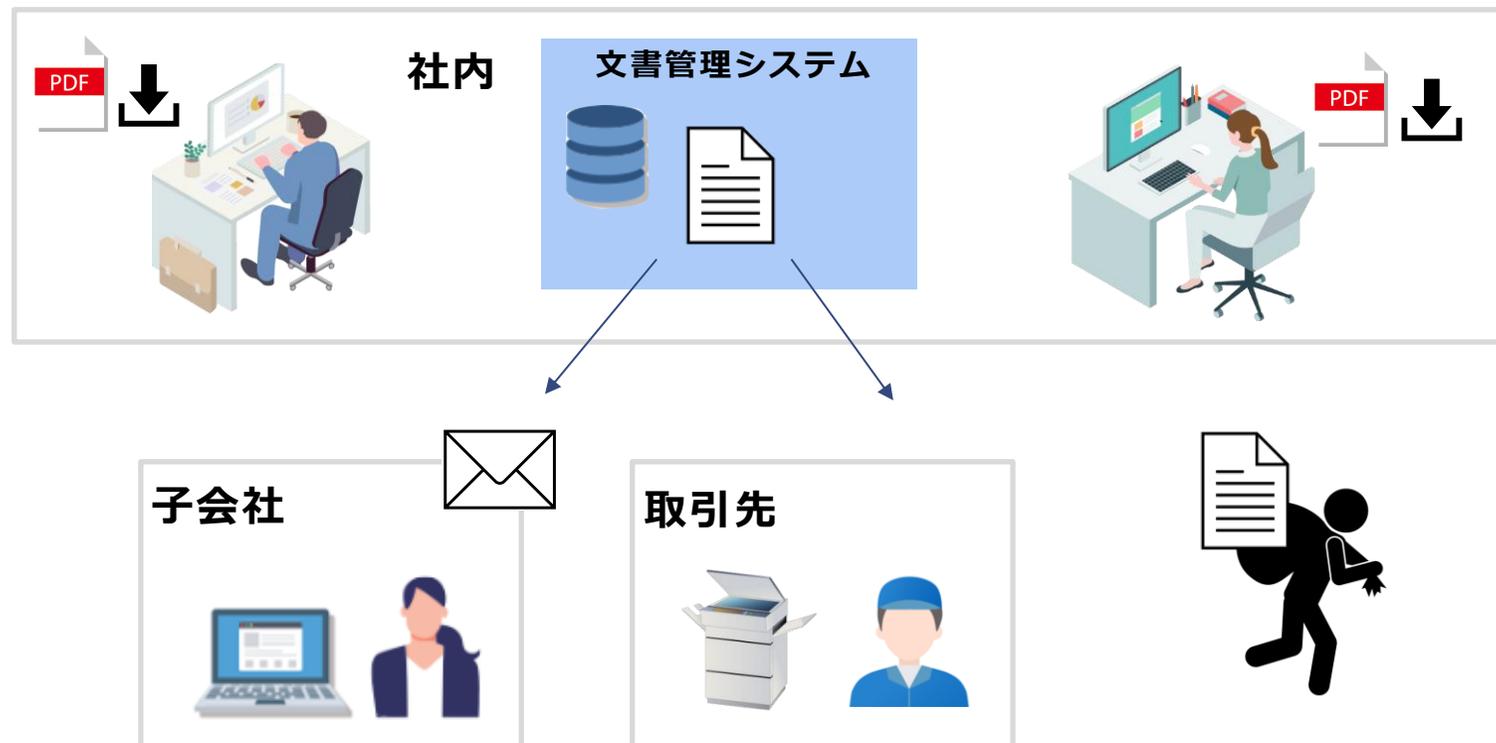
アンケート内に質問が記載できる設問をご用意しております。
Q&Aの時間内に質問が出来なかった方や音声での質問が難しい方がいらっしゃいましたら、
お手数ですがアンケートへご記入をお願いいたします。
後日、弊社営業からご連絡させていただきます。

- ④ 本セミナーの録画および本資料の転載、再配布はご遠慮ください。

時間	内容	担当
13:30 ~	セミナー前の連絡事項、アジェンダ	
13:35 ~	PsafeVIEWの概要、機能説明、デモ	
13:50 ~	導入事例のご紹介	営業部 奥田 千晶
14:20 ~	質疑応答	
14:30	セミナー終了予定	

デジタル化とセキュリティ

デジタル化により、重要情報を社内だけでなく多くの人と簡単に共有できるようになりました。その一方、情報漏洩やデータの不正リスクも高まっています。



共有方法に気を付けなければ、漏洩のリスクが上がる

具体的な情報漏洩事故の例

技術情報の不正コピーと漏洩

USBメモリに重要情報を不正にコピーし、私用PCからメールで外部に漏洩

設定ミスで顧客情報漏洩

アクセス権限の設定ミスにより、子会社側から顧客情報を不正に閲覧可能な状態になっていた

ランサムウェア被害による顧客情報漏洩

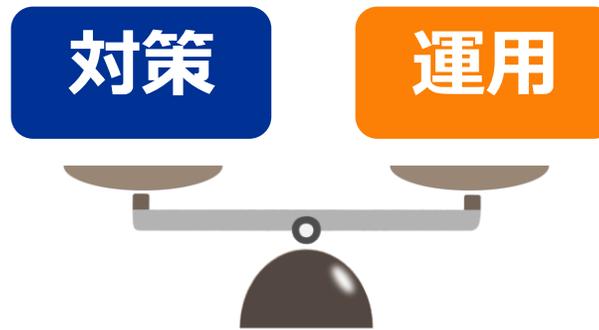
ランサムウェア攻撃により約**240万件**もの顧客や関係者に関する個人情報が流出

サプライチェーン攻撃

自動車の部品を提供しているメーカーがサイバー攻撃を受ける。サプライチェーンを経由し**国内全工場の稼働が停止**。

情報漏洩の危険は、すぐそばにあります！

セキュリティ対策と運用のバランスが課題



企業が抱えるセキュリティ課題

◆情報漏洩 から守りたい

- 重要情報を社内や取引先と共有時に流出する
- 研究結果など社内向けの公開情報が不正に持ち出し
- 社外で使う端末にダウンロード

◆サイバー攻撃 から守りたい

- 不正アクセス、ウィルス感染

◆ヒューマンエラー から守りたい

- 誤送信、誤操作、誤表示
- 端末・USBなどの紛失

情報共有にまつわる要望

- 部署や拠点を問わず、**スムーズに情報共有したい**
- **社外取引先と打合せ時**に社内情報を閲覧したい
- **大容量ファイルを共有したい**
- スマホ、タブレットでも閲覧したいが管理が大変なため、**個別のツールを入れたくない**
- ITに詳しくない従業員もいるため **シンプルなものを使いたい**

PsafeVIEWとは

PsafeVIEWは、ハイパーギア製品で暗号化を行ったPDFとPDFビューアを組み合わせることで、不正な二次利用を防止し、セキュアに文書を閲覧させることが出来るソリューションです。

ハイパーギア製品で作成した
暗号化PDF



マルチブラウザで閲覧でき、
不正な二次利用を防止できる
PDFビューア



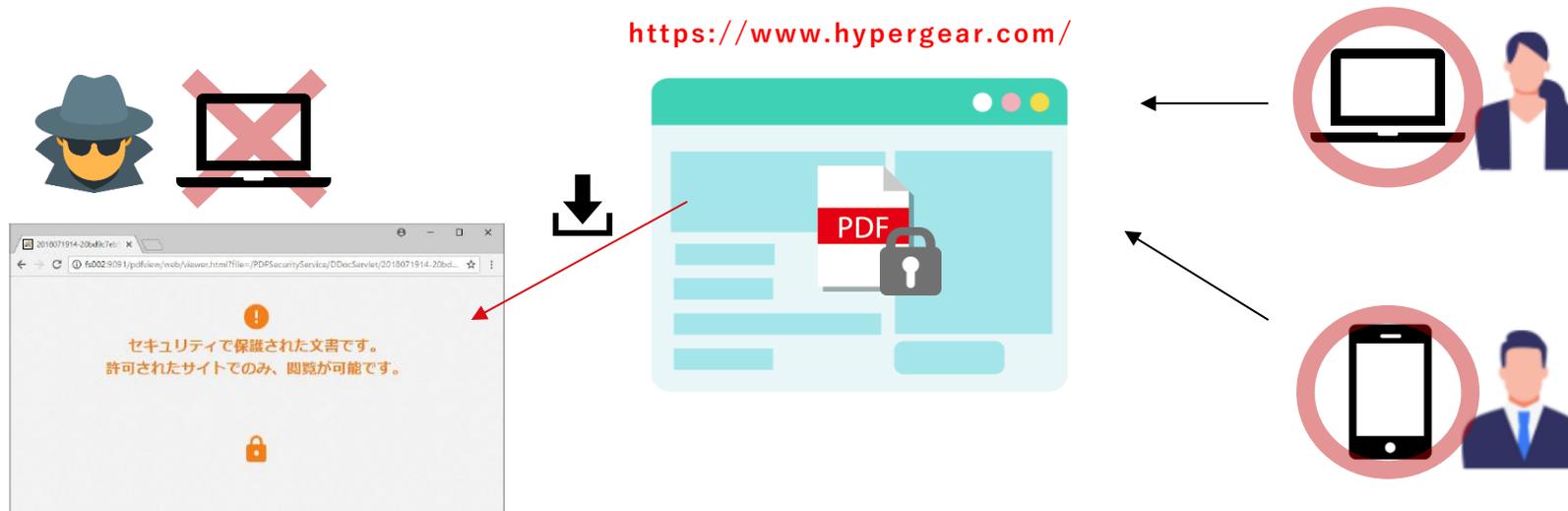
暗号化PDFをPDFビューアを介して閲覧することで
セキュアに文書を閲覧できます



- 印刷禁止
- ダウンロード禁止
- コピー禁止
- 透かしの付与
- 有効期限設定

特長① 不正ダウンロードによる情報漏洩を防止

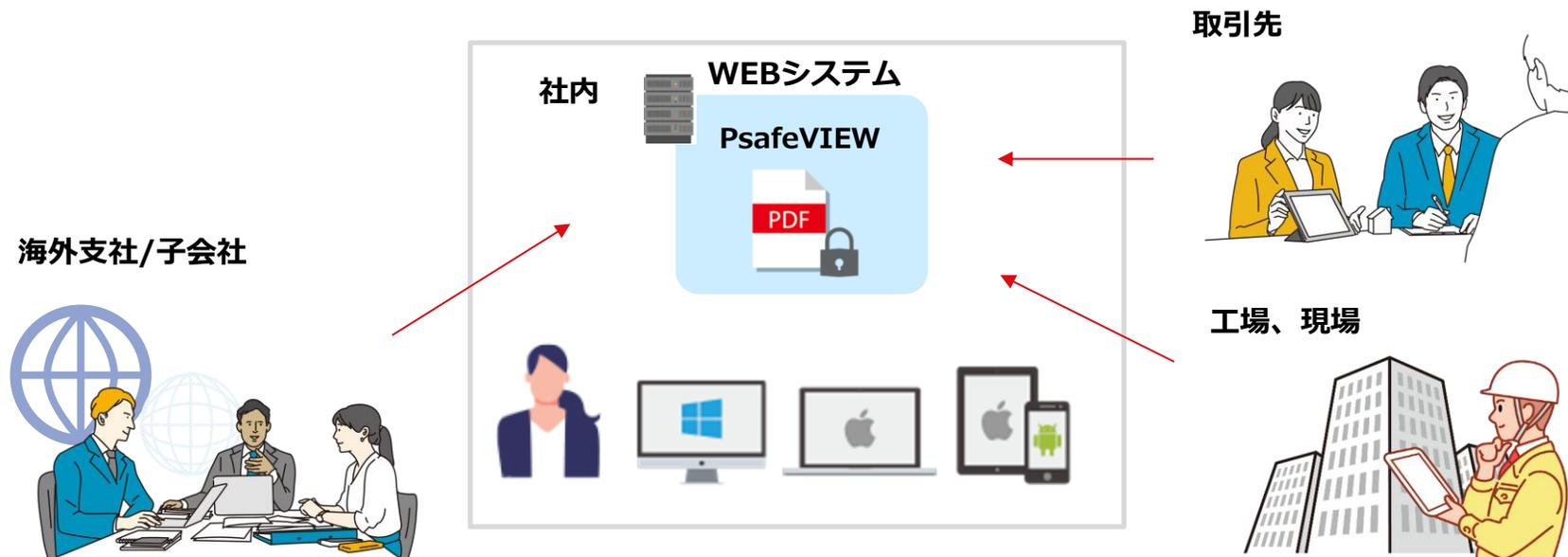
- ・ ファイルの閲覧を許可するページをURLで指定できます。
- ・ 不正にファイルをダウンロードされても、閲覧許可されたURL上でないと閲覧できない仕組みになっているため、重要情報の流出を防ぎます。
- ・ 技術資料や図面などの重要な情報を、個々の端末へダウンロードさせることなく、安全に情報共有ができます。



特長② 閲覧者の端末へ専用アプリのインストール不要

- 専用のPDFビューアなど、一連の仕組みはWebサーバに配置する仕組みになっており、閲覧者の端末に専用アプリをインストールすることなくご利用いただけます。
- ブラウザベースのシステムだからこそ、閲覧者の環境、端末に左右されません。
サプライチェーン関係企業や部署間で情報共有する際も、自社の情報を守りながら安全に共有できます。

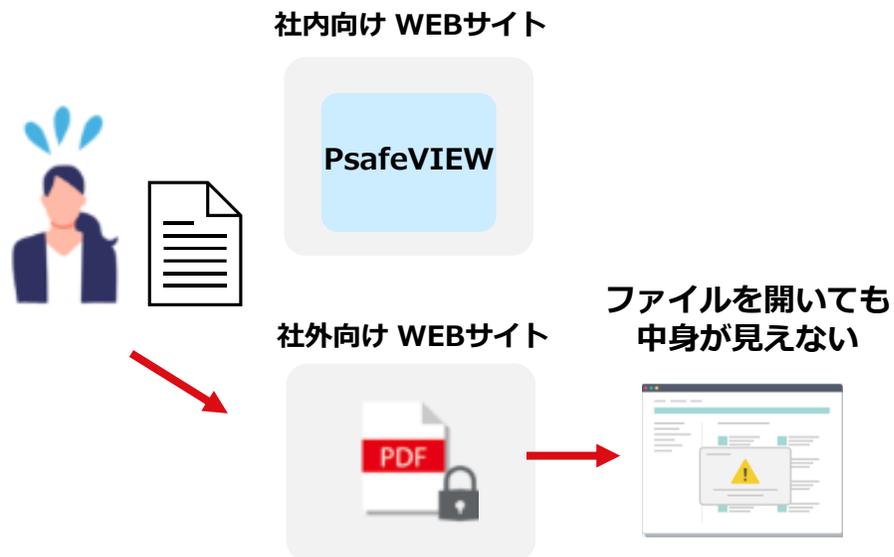
※閲覧ブラウザ：HTML5/JavaScript（ECMA規格準拠）のWebブラウザ
Edge, Chromeなどで動作確認済み



特長③ ヒューマンエラーによる情報漏洩リスクを最小化

- ・ファイル自体を暗号化することで、ファイルそのものが漏洩してしまった場合の被害を最小化します。
- ・研究データなどが記載されている機密情報を、誤って社外向けサイトに公開してしまったり、メールで誤送信してしまった場合でも、データの内容は保護できます。

設定ミスによる情報漏洩防止



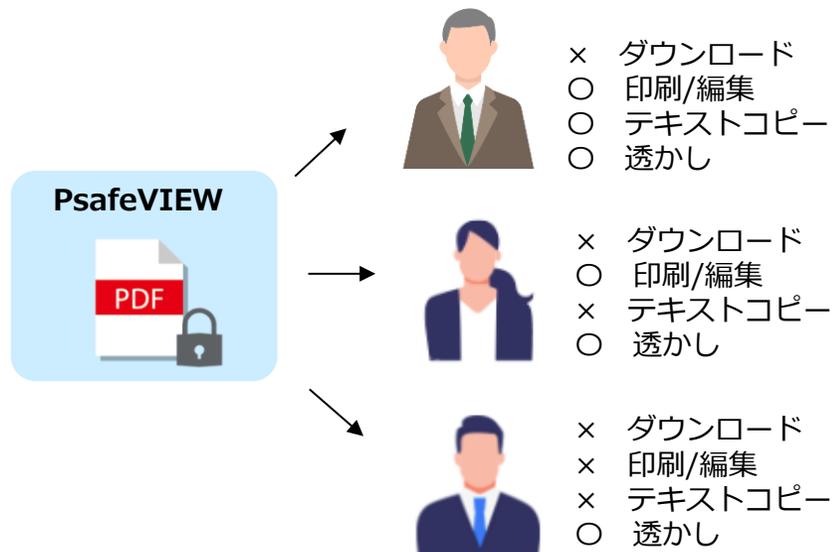
メール誤送信による情報漏洩防止



特長④ 閲覧者の権限に応じたセキュリティ設定が可能

- Active Directory（グループ/ユーザー）と連携することで、閲覧するユーザの権限に応じたセキュリティ設定でファイルを表示することができます。
- ファイルを閲覧時、ユーザID・閲覧日時など固有の情報を透かしで表示可能。漏洩元が分かるようにすることで、スクリーンショットの抑制ができます。

権限ごとにセキュリティ設定を変更



ユーザ情報の透かしを表示

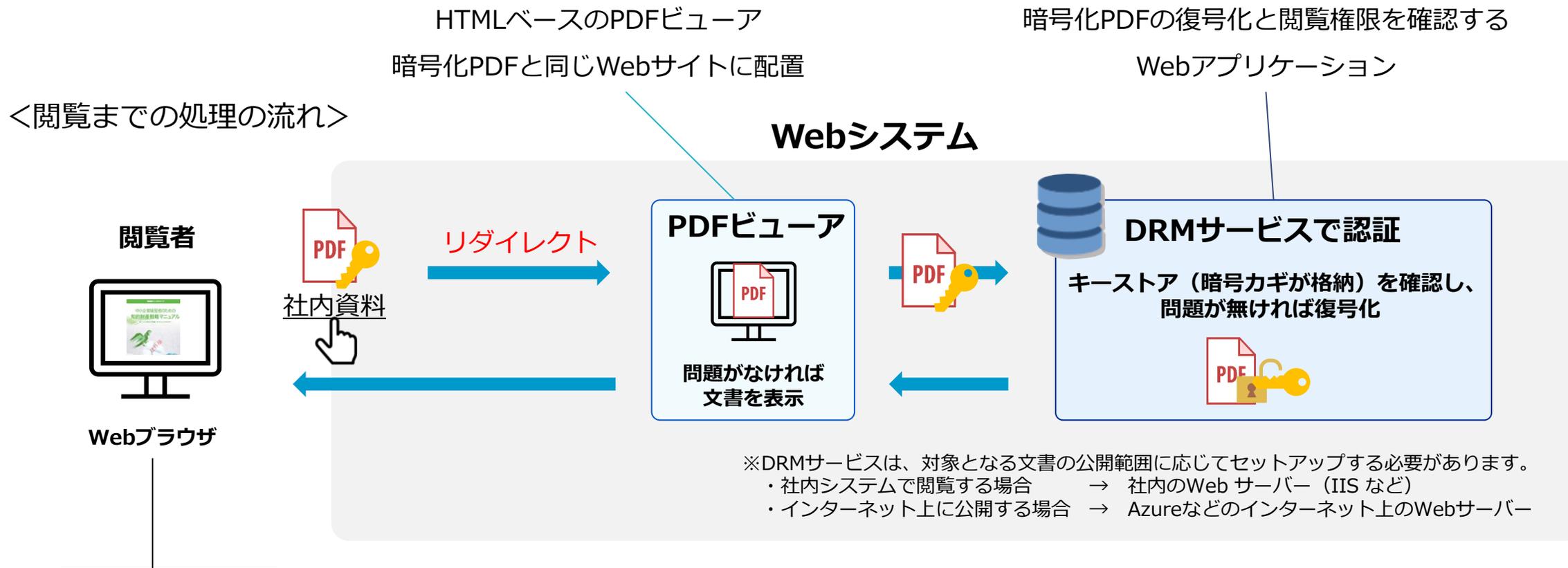
閲覧日時→ 2024/04/01
 閲覧者のユーザID→ ハイパーギア
 HG12345

Confidential

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」
 ギア」といいます）が使用許諾の権限を有する本ソ
 お客様（以下「ライセンシー」といいます）とハイ
 約に記載された条件に同意する場合に限って、本ソ

PsafeVIEWの仕組み



閲覧者の環境にビューアなどの専用アプリケーションをインストールする必要がありません。

Webサーバー側でファイルを復号化し表示するため、閲覧者環境ではWebブラウザがインストールされていれば利用することができます。

PsafeVIEWと組み合わせる暗号化製品

1 HGPscanServPlus 事前変換型

フォルダ監視で動作するPDF変換サーバーソフトウェアです。

監視フォルダにファイルを登録すると、設定したセキュリティ内容で暗号化PDFを作成します。

暗号化したPDFをWebサーバーへアップロードしてから、PsafeVIEWで閲覧します。

2 ファイルプロテクト for IIS 動的変換型

TIFF,JPEG,PDFをリアルタイムに暗号化PDFへ変換するソフトウェアです。

IISベースのWebシステムにセットアップして利用します。Active Directoryとの連携（グループ/ユーザー）が可能で、

暗号化PDFを閲覧するユーザ毎に、セキュリティ内容を動的に変更することが可能です。

3 HGDDS 動的変換型

自社開発のパッケージシステムやWebシステムへ組み込み可能なJAVA SDK（ソフトウェア開発キット）です。

暗号化PDFをアップロードするWebシステムの仕様に合わせてご利用頂けます。

※弊社では組み込み開発は行っておりません。

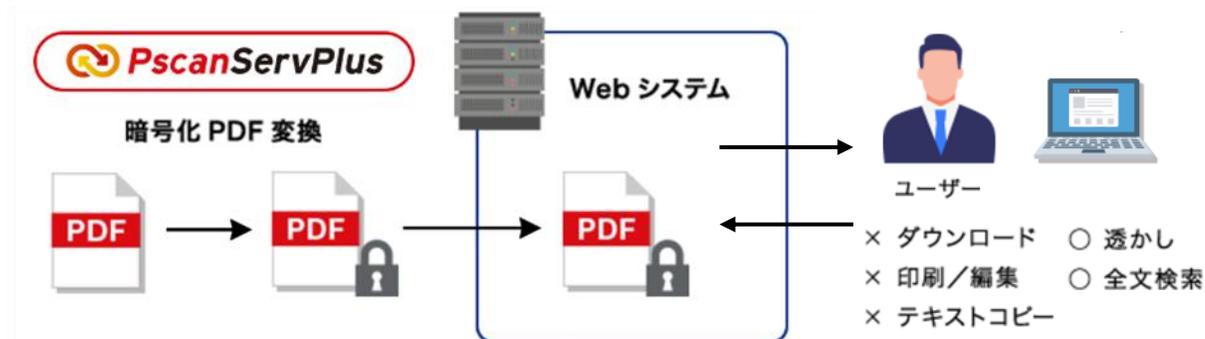
PsafeVIEWと組み合わせる暗号化製品

パターン1 事前変換型

あらかじめ変換した暗号化PDFをWebシステムへアップロードし、公開します。

PscanServPlus

- ・ PDF以外のファイル形式も暗号化PDFへ変換可能
- ・ 文書の自動振り分けなど、セキュリティ以外の機能も利用可能



パターン2 動的変換型

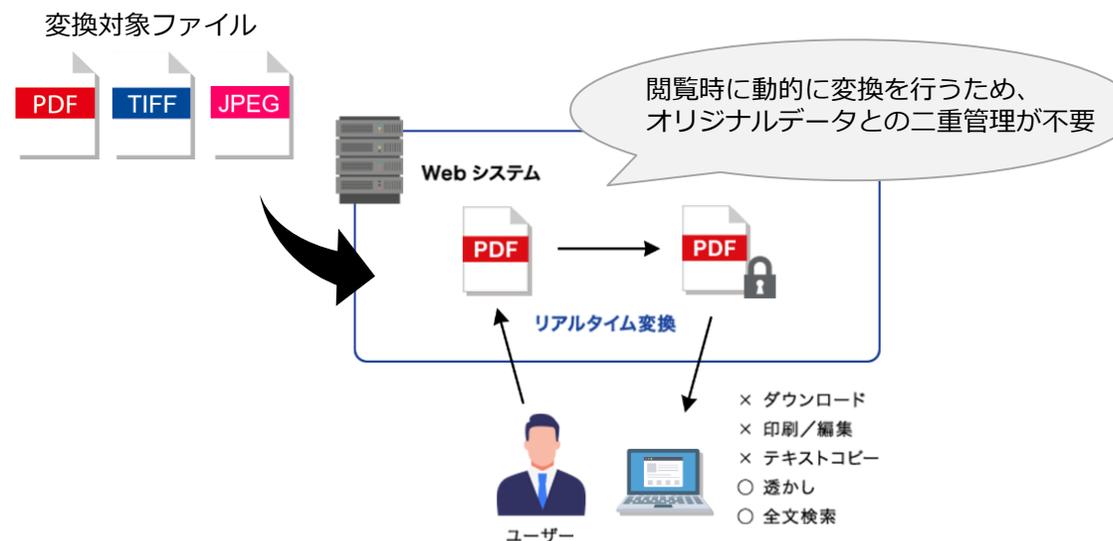
原本ファイルをそのままWebシステムへアップロードし公開します。閲覧時に動的にファイルが暗号化されます。

ファイルプロテクト for IIS

- ・ IISベースのWebシステムにセットアップして利用
- ・ Active Directoryとの連携が可能
- ユーザー/グループ毎に異なるセキュリティ設定や透かしの付与が可能

HGDDS

- ・ JAVA SDKで提供
- ・ 既存システムや運用に合わせて柔軟に開発が可能



PsafeVIEW デモ

デモをご覧ください。 https://www.hypergear.com/form/demo_psafeview/

PsafeVIEWオプション

マルチブラウザ対応 PDF二次利用防止システム

暗号化PDFの閲覧を許可するWeb サイトの限定や閲覧可能な有効期間を指定するなど、セキュアにPDFを閲覧することができます。サーバー側で暗号化/復号化の仕組みを構築するため、クライアント端末への専用アプリのインストールがなく、マルチブラウザに対応できます。

システム連携

ファイルプロテクト for IIS

HGDDS

圧縮
暗号化

PsafeVIEW

マルチブラウザ対応

印刷禁止

ダウンロード禁止

コピー禁止

透かしの付与

有効期限設定

【活用シーン】

- ・ 自社HPや社内システムに掲載している資料を自由に印刷/ダウンロードできないようにする。
- ・ 会員向けサイトで公開している資料を会員が二次配布できないようにする。
- ・ 紙で発行している刊行物をWeb公開に変更し、二次利用できないようにする。
- ・ SharePoint Onlineで公開している社内資料を社員のPCにダウンロードできないようにする。

【Webブラウザでの表示イメージ】

PsafeVIEWオプション PDFビューアマニュアル

【対応ブラウザ】
HTML5/JavaScript (ECMA規格準拠) のWebブラウザ

動作検証済みWebブラウザ：
Google Chrome/Microsoft Edge/Mozilla Firefox/Safari

※WebブラウザでHTML / JavaScriptの技術を用いて

印刷禁止

ダウンロード禁止

コピー禁止

透かしの付与

有効期限設定

PsafeVIEW 導入事例紹介

事例① 自社文書管理システムでの利用

事例② 社内のグループウェアと連携した利用

事例③ 有料会員向けコンテンツ配信サイトでの利用

事例④ PDF二次利用防止×ペーパーレスを組み合わせた利用

事例① 自社文書管理システムでの利用

【ユーザー情報】

業種：製造業

従業員数(連結)：約300,000人

利用部署：技術管理系

暗号化PDF閲覧者数（クライアント数）：約10,000～20,000人

【導入製品】

HGPscanServPlus + PsafeVIEWオプション

【利用目的】

文書管理システムをリプレースし、既存システムと同等のセキュリティ要件を実現し、国内外の拠点で共有する図面や仕様書などの技術系機密文書をセキュアに閲覧したい。

【セキュリティ要件】

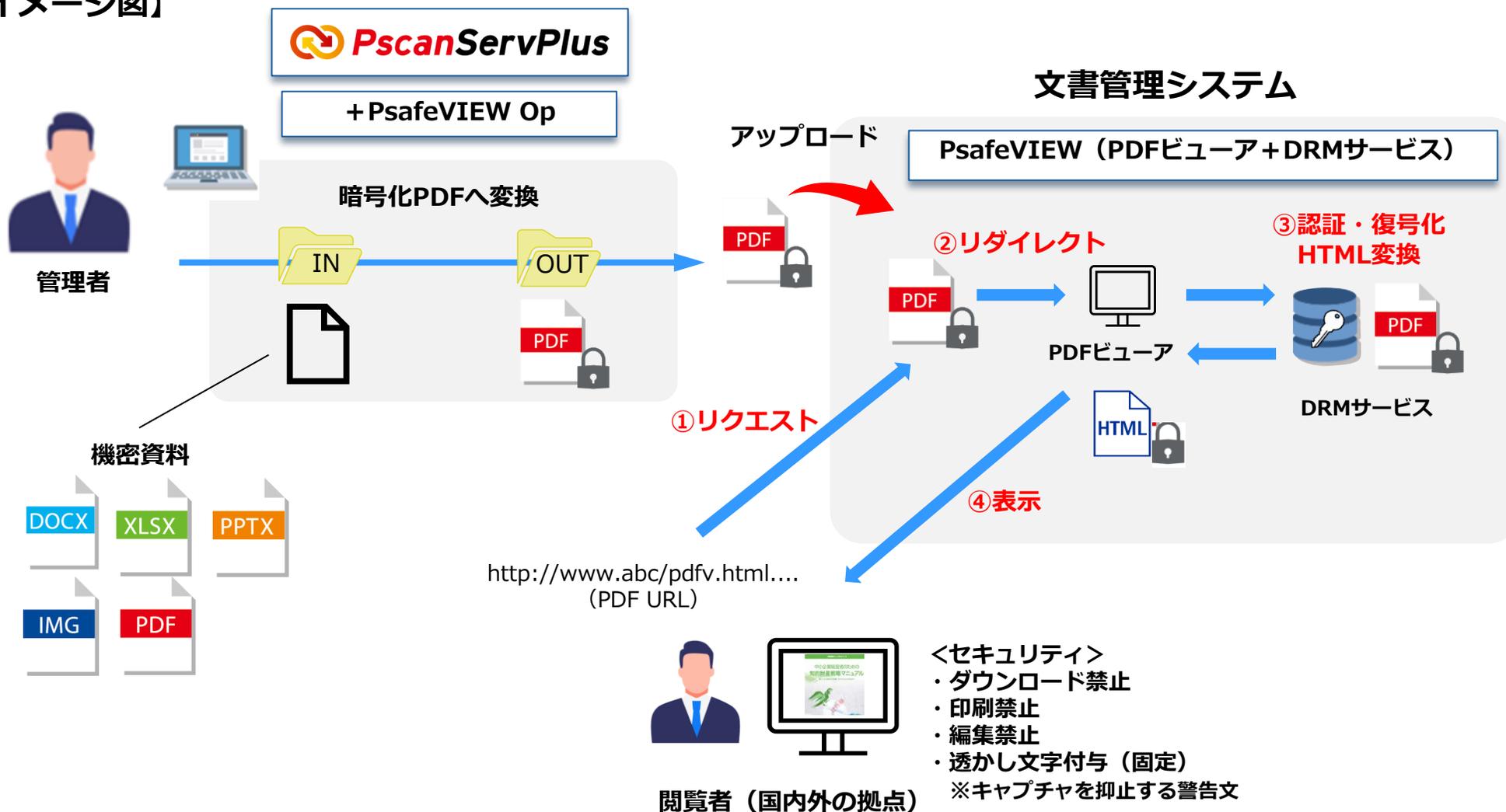
ダウンロード禁止、印刷禁止、編集禁止、警告文の透かし文字付与（定型文）

【検討ポイント】

- 1) 既存システムのリプレースのため、セキュリティ要件を変えずに運用できるかどうか。
- 2) 閲覧者数が多いため、クライアント側に専用ビューアなどのアプリケーションをインストールする必要がある仕組みであるか。
※既存システムでは閲覧者（クライアント側）に専用アプリケーションが必要で管理が大変であった。

事例① 自社文書管理システムでの利用

【利用イメージ図】



事例① 自社文書管理システムでの利用

【導入効果】

1

図面や仕様書など、技術系文書の二次利用を防止でき、国内外問わずセキュアにファイル共有ができる。

2

クライアント側に専用アプリケーションが不要なため、ユーザーへの案内や管理が楽になった。

事例② 社内のグループウェアと連携した利用

【ユーザー情報】

業種：製造業

従業員数（連結）：約4,000人

利用部署：品質保証関係

【導入製品】

HGPscanServPlus + PsafeVIEWオプション

HGQRオートジェネレーター

【利用目的】

国内外の拠点で閲覧する原材料の規格書をセキュアに共有したい。

【セキュリティ要件】

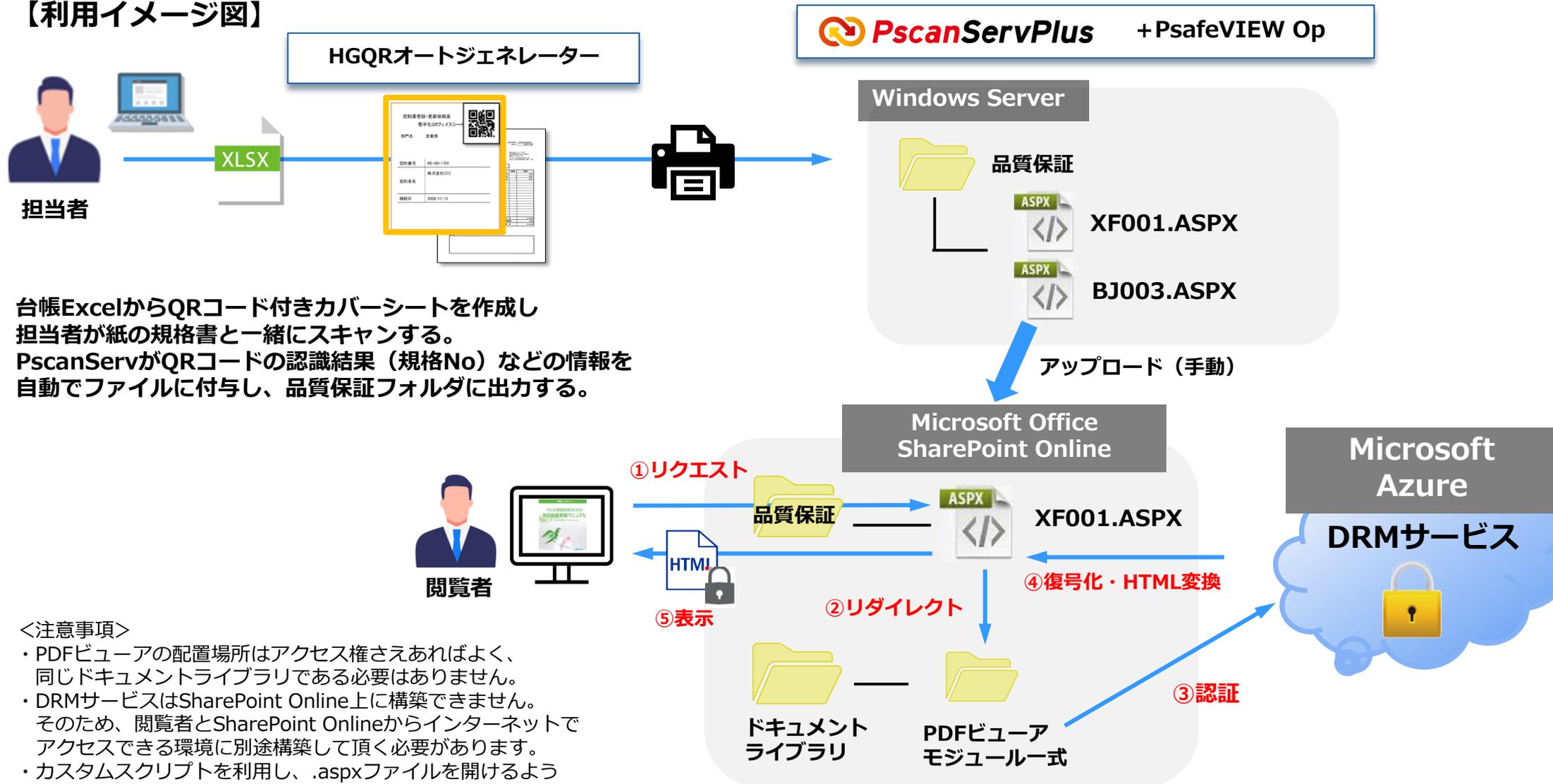
ダウンロード禁止、印刷禁止、編集禁止

【検討ポイント】

- 1) 暗号化PDFをグループウェア（クラウドサービス）で共有・閲覧できる仕組みかどうか。
- 2) 規格書をセキュアに閲覧させるだけでなく、規格書をスキャンして保存するまでの作業を効率化したい。
- 3) 属人化せず、統一したルールのもと運用できる仕組みかどうか。

事例② 社内のグループウェアと連携した利用

【利用イメージ図】



台帳ExcelからQRコード付きカバーシートを作成し
 担当者が紙の規格書と一緒にスキャンする。
 PscanServがQRコードの認識結果（規格No）などの情報を
 自動でファイルに付与し、品質保証フォルダに出力する。

＜注意事項＞

- PDFビューアの配置場所はアクセス権さえあればよく、同じドキュメントライブラリである必要はありません。
- DRMサービスはSharePoint Online上に構築できません。そのため、閲覧者とSharePoint Onlineからインターネットでアクセスできる環境に別途構築して頂く必要があります。
- カスタムスクリプトを利用し、.aspxファイルを開けるようSharePoint Onlineの設定変更が必要です。

事例② 社内のグループウェアと連携した利用

【導入効果】

1

規格書のスキャン～フォルダ格納・ファイル名付与までの
手作業を減らすことができ、1日あたり約1～2時間ほど
他の業務に使える時間ができた。

2

属人化せず統一のルールで運用ができ、
ファイル名間違いなどのヒューマンエラーを減らすことができた。

3

所属拠点などの場所を問わず、
セキュアにファイル共有できるようになった。

事例③ 有料会員向けコンテンツ配信サイトでの利用

【ユーザー情報】

業種：出版社

従業員数：約90名

閲覧者数（会員数）：1,000名以上

【導入製品】

HGDDS + PsafeVIEWオプション

【利用目的】

有料会員がオンラインデータベース上で閲覧する電子書籍の二次利用を防止したい。

【セキュリティ要件（二通り）】

1) オンラインデータベース上で表示する場合

Webブラウザ内で暗号化PDFを表示し、ダウンロード禁止、印刷禁止、編集禁止の状態で見せる。

2) 会員が自分のPCローカルにダウンロードする場合

PDFへ有効期限を付与してダウンロードさせ、期間限定で見せる。

【検討ポイント】

1) 二通りの暗号化PDF閲覧方法に対応できる仕組みかどうか。

既にHGDDSを利用しており、PsafeVIEW以外の暗号化も引き続き利用したい。

2) マルチブラウザ対応ができるかどうか。

事例③ 有料会員向けコンテンツ配信サイトでの利用

【利用イメージ図】

閲覧方法1

オンラインデータベース上で閲覧する場合



会員



- ・ダウンロード禁止
- ・印刷禁止
- ・編集禁止

閲覧方法2

PCローカルへダウンロードして閲覧する場合

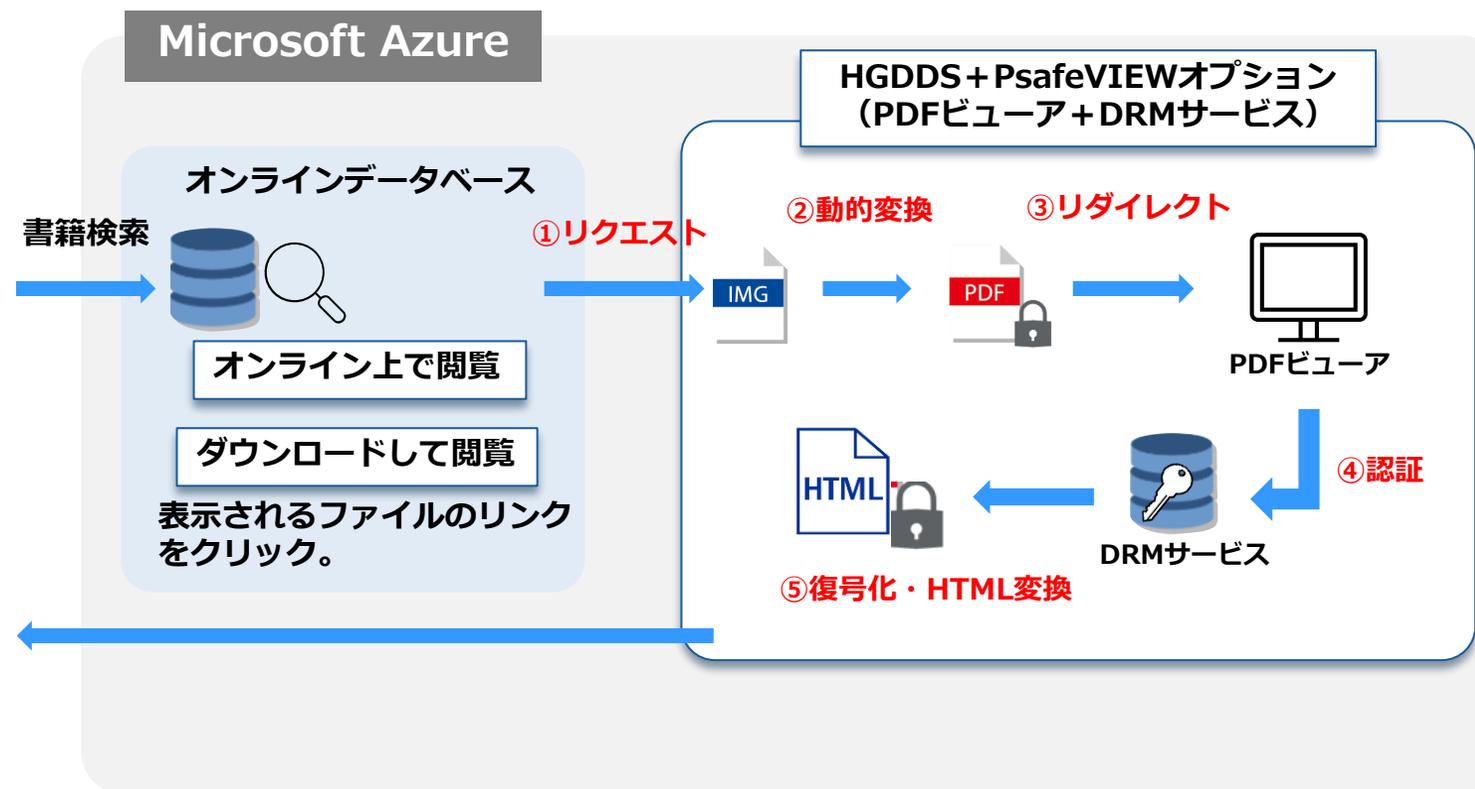


会員



- ・有効期限付与
- ・印刷禁止
- ・編集禁止

※Windows OS環境および
Adobe Acrobat Readerでの閲覧を前提



事例③ 有料会員向けコンテンツ配信サイトでの利用

【導入効果】

1

Web公開・会員へ配布する電子書籍の二次利用を防止でき、セキュアな電子書籍公開を実現できた。

2

会員の利用シーンに合った二次利用防止対策ができ、会員の利用方法の変更なく、マルチブラウザ対応を実現できた。

事例④ PDF二次利用防止×ペーパーレスを組み合わせた利用

【ユーザー情報】

学校法人大東文化学園 様

職員数：教育職員452名、事務職員213名（2021年時点）

【導入製品】

HGPscanServPlus + PsafeVIEWオプション

【利用目的】

毎月、紙で発行する学園報の作成業務の効率化と時間外労働の削減を目的にペーパーレスに取り組み、学園報をWeb公開することになった。学園報には個人情報に記載されるため、Web公開する学園報の二次利用を防止したい。

【セキュリティ要件】

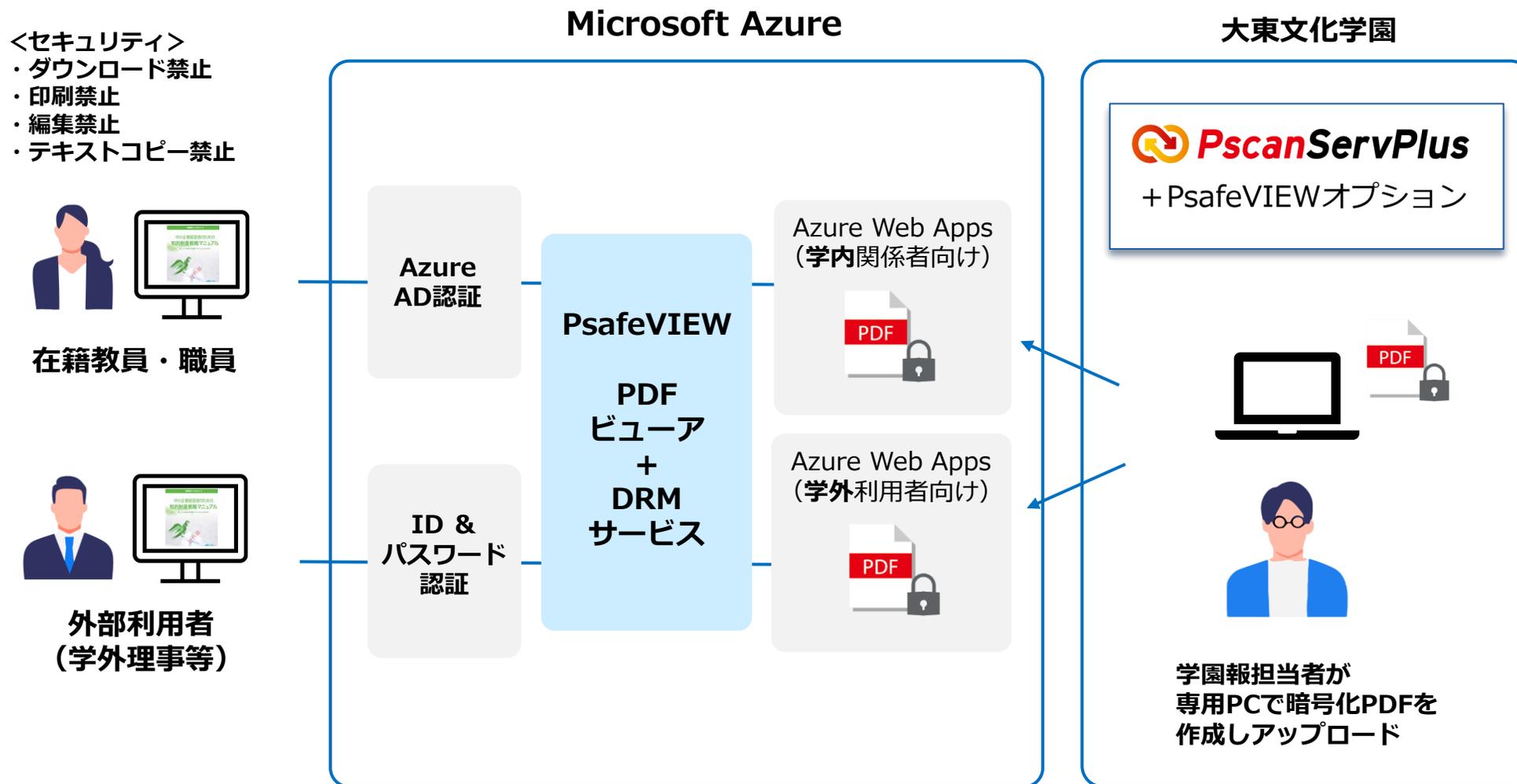
ダウンロード禁止、印刷禁止、編集禁止、テキストコピー禁止

【検討ポイント】

- 1) 学園報に掲載される人事・個人情報の保護ができること。
- 2) ユーザー部門単独で運用ができるほど、簡単な仕組みであること。
- 3) Azure Active Directoryとの連携（閲覧者の権限確認）

事例④ PDF二次利用防止×ペーパーレスを組み合わせた利用

【利用イメージ図】



事例④ PDF二次利用防止×ペーパーレスを組み合わせた利用

【導入効果】

1

Web公開する学園報の二次利用を防止し、
人事・個人情報を守ることができる。

2

年間約120時間の時間外労働を削減できた。

3

年間約618,000円の印刷・郵送代を削減できた。

PsafeVIEW まとめ

- Webブラウザを介して文書を閲覧する場面をご利用いただけます。
Webサーバー側で制御を行うため、**閲覧者端末へ専用アプリのインストールは不要**です。
- 実現できるセキュリティは、
ダウンロード/印刷/編集/テキストコピーの禁止、閲覧有効期限の設定、透かし文字付与 です。

もし閲覧者のミスや意図的にPDFファイルをダウンロードされたとしても文書の中身を閲覧することはできません。
- 3種類の製品組み合わせがあり、**想定されている要件に合った製品**を導入していただけます。
何が合っているのか分からない方は弊社営業までご相談ください。
- **情報を守りつつ、共有がしたい方**におすすめです。

価格表

	HGPscanServPlus	ファイルプロテクト for IIS	HGDDS
	事前変換	動的変換	動的変換
ソフトウェア本体	600,000円	300ユーザ：1,000,000円 無制限：2,500,000円	1,500,000円
PsafeVIEWオプション	600,000円		
サポート保守（1年間）	180,000円/年	300ユーザ：320,000円/年 無制限：620,000円/年	315,000円/年
備考		利用ユーザー数により 価格が異なります	変換時、透かし文字を付与する際は 別途「透かしオプション」が必要です

※表内記載の価格は全て**税別**です。
 ※サポート保守は購入初年度より有償です。

配布制限PDFからPsafeVIEW移行時の注意点

既に下記対象製品を利用して配布制限PDF（ダウンロード禁止、有効期限）を作成されているお客様向けのご案内です。PsafeVIEWへ移行される場合、以下の点についてご確認ください。

対象製品

HGPscanServシリーズ、ファイルプロテクト for IIS、HGDDS、HGPDF配布制限ツール

- ❑ PsafeVIEWは従来の配布制限PDFと暗号化方式が異なるため、**配布制限PDFをそのままPsafeVIEWのPDFビューアで表示することはできません**。セキュリティがかかっていないファイルをPsafeVIEW用に再変換する必要があります。
- ❑ PsafeVIEWのPDFビューアで表示されるため、Adobe Acrobat/Acrobat Readerと比較し、外観が異なる可能性があります。事前に試用版にてご検証をお願いいたします。
- ❑ ご利用中の製品バージョンによって、製品のバージョンアップが必要となります。
- ❑ HGPDF配布制限ツールにPsafeVIEWオプションを追加することはできません。

質疑応答

「音声」でのご質問をお願いいたします。
 質問がある方は、画面下「手を挙げる/挙手」を押下してください。



お名前を呼ばれた方から、
 ミュート解除しお話しください。

ホストがあなたに発言を求めています

ミュートを解除すると、ウェビナーに参加している他の人々はあなたの声を聞くことができるようになります。あなたがミュートを解除した後でホストまたはパネリストがウェビナーの録音、ライブストリーム、またはアーカイブを行う場合、あなたの声もそれらに含まれます。ウェビナーが録音されている場合、AI テクノロジー（サードパーティ モデルを含む場合があります）を使用するスマート録音で共有される場合があります。Zoom が、オーディオ、ビデオ、チャット、画面共有、添付ファイル、その他のコミュニケーション系コンテンツ（投票結果、ホワイトボード、リアクションなど）を、Zoom またはサードパーティ製の AI モデルのトレーニングに使用することはありません。

関連する権限を持つ参加者は、ウェビナー文字起こしの保存と共有もできます。

[ミュート解除] をクリックすると、コンピュータ オーディオが接続され、自分のミュートが解除されます。

ミュート解除

ミュートのままにする

※音声でのご質問が難しい方は、セミナーアンケートへご記入をお願いいたします。

**本日はありがとうございました。
アンケートへの回答をお願いいたします。**

■ 開発・販売・企画

株式会社ハイパーギア The logo for HyperGear, featuring a stylized blue 'G' with a red dot inside, followed by the text 'HYPER GEAR' in blue capital letters.

〒162-0846

東京都新宿区市谷左内町21番地 市谷山上ビル3F

TEL:03-5225-7531 FAX:03-5225-6512

■ 本セミナーに関するお問い合わせは下記へお願いいたします

営業部 奥田 千晶 (c.okuda@hypergear.com)